

健康教育委員会

1、研究テーマ

自分の心や体の健康に関心を持ち、自ら健康な生活を選択して、実践しようとする力を高めていくための指導はどうあったらよいか。

2、研究課題

(1) 健康教育の中の「食育」に重点をあて、めざす生徒の姿

- 自分の心や体に（健康）に関心を持つことができる。
- 生活習慣の見直しを通して、現在の自分の生活の問題点に気づくことができる。
- 自ら健康な心や体を作ろうと、自己決定しようとするすることができる。
- 自ら健康な生活を選択し、実践しようとするすることができる。
- 自分を大切にし、また、周りの人やものやことを大切にすることができる。

自分の心や体を大切にしていくためには、まずは、その基礎力となる「自分は認められているのだとか、大切にされているのだ」ということに気づくことのできる授業を意識して取り組んでみたいと考えた。

3、指導の実際

「めざす生徒の姿」を具現化するためのてだて

「食」に関わって、生徒の姿を通して課題を理解する。（See）

特別活動の中で意識して取り組むこと（健康教育に関わって - Plan）

○目的をもった活動や「実感」を生み出すために

ア、「健康教育」を学年カリキュラムに位置づけ、道徳や他教科との関連を大切にする。
イ、共通の目的を持たせる。そして、一人一人の役割と活動の具体的な内容を明確にする。

ウ、「どうしたらよいのか」という問いや課題を持たせたり、実感したり、達成感・成就感を味わったりなどの活動を意識する。

○自分を見つめたり、認め合ったりする姿を育み「喜び」を得るために

ア、友だちとの関わりの場を設定する。
イ、自己の活動において見返す場を設定する。

生徒の活動を支えるための教師の支援について

ア、共に育つ イ、心の内を理解する ウ、生徒の力を信頼する エ、先を読む

4、この事例から明らかになったこと

(1) 題材の展開（3時間扱い）

	活 動 の 内 容	指導上の留意点	生徒の姿など
1 特 活	○ビデオ資料「好きなものだけ食べたい。」 ○感じたことを学習カードに記述する。	○登場人物と今の自分を比較しながら、自分を見返すことのできる問いかけを学習カードの中に記述し、見返す場面をつくる てだて のイ - 見返す場 ・生徒の学習カードを考察する	○ビデオを集中して見ている生徒が多かった 

2 道 徳	○ 前時の学習カードを 発表しあう。 ○ 道徳資料を使って、 感じたことを発表す る。 ○ 最後にこの作文のタ イトルを各自がつけ 発表する。	○ 生徒の感じたことを、どのよ うに発表させていくか指名計画 を立てておく。 てだて のア - 関わらせ方 ○ 間をあけたり、感じたことを 発表させたりしながら、教師が 読み手となって、資料を読み進 める。 てだて のウ - 資料との出会 せ方 ○ 授業後、学習カードの記述に 留意し評価の参考とする。	【生徒の学習カード】 ○ 今まで、自分も意識 しないで食べていたけ ど、大切な命をもらっ て、今の自分があるん だな。 ○ これからは、食べ物 を大切にして食べたい と思った。 ○ 感謝したいと思う。
3 特 活	【食と私の命】 1、母親が授乳している 写真を見せる。  2、ミルクを飲む。 3、赤ちゃんはミルクで どれだけ成長するのだ ろう。 4、離乳食を食べる。 5、家族からの手紙を読 む。  【思わず涙ぐむA生】 	てだて のウ - 写真資料の吟味 ○ 写真から感じたことを自由に 出させる。 自分は赤ちゃんの時からどんな 食生活を経て成長してきたのか 考えよう。 ○ 「ミルクを用意したから飲ん でみよう。」グループで活動。 ○ 養護教諭から、育児の経験話 をまじえながら成長のようすを 紹介する。 ○ 「次は、離乳食を試食してみ よう。」 てだて のア - 友や教師との関 わり ○ このような食を通して、みん なは大きくなってきたんだ。一 人だけで大きくなったのかな。 ここまで育ててくれた保護者の 方の手紙を読んでみよう。 てだて のウ - 手紙資料との出 会わせ方 てだて のイ - 学習カードの問 いかけ方（見返す場）	【生徒の感想】 ○ おいしそうだ。 ○ うれしそうだ。 ■ 【生徒の姿・成果】 「ミルクを飲んでみよ う。」という問いかけ に生徒は、「えー」と 驚きの声。グループの 人とつぶやきながら活 動する生徒たち。いつ も静かで、つぶやきの 少ない生徒たちが、実 物の教材に触れて楽し そうに取り組む姿があ った。 ■ 【生徒の姿・成果】 保護者からの手紙をじ っと読む生徒たち。あ る男子生徒は、アレル ギー体質の自分に、苦 労して離乳食を作っ てくれていた母の思いに 思わず感動していた姿 があった。

5、来年度への課題

中学2年生のこの時期に、食育を柱にしながら、今後もこのような授業を位置づけていきたいと考える。「自分を大切にする」という気持ちに気づかせていく授業を重層的に、各学年でも取り組んでいきたいと思う。